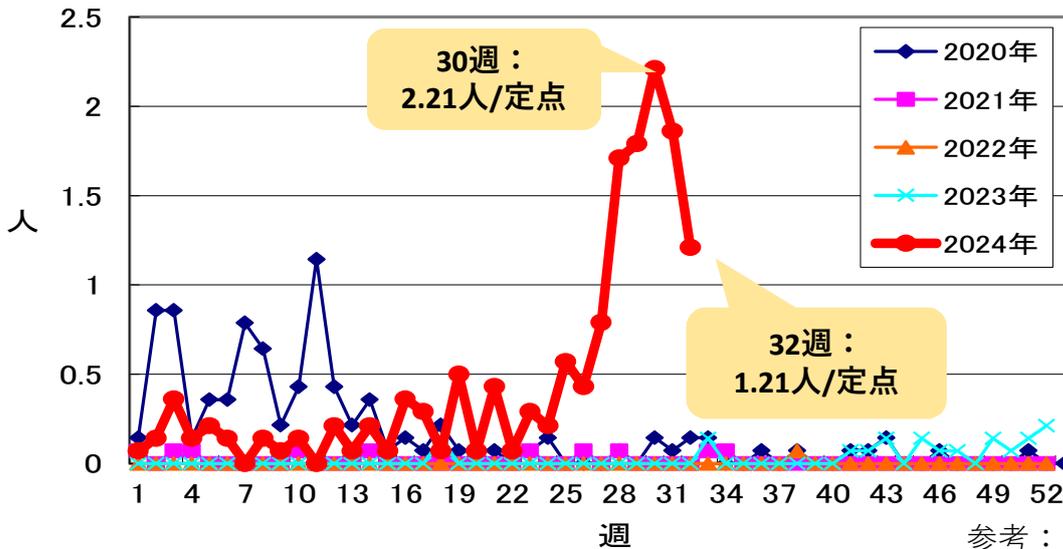


マイコプラズマ肺炎が流行しています！

◎マイコプラズマ肺炎とは？

- ・「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することにより起こる呼吸器感染症。
- ・幼児、学童期、青年期を中心に**全年齢で1年を通じて**報告があります。

マイコプラズマ肺炎の定点あたり患者発生状況(県内)



定点あたりの患者数は、**30週の2.21**をピークに**32週は1.21**と減少しましたが、**過去5年では、患者発生数が多い状況です。**

参考：兵庫県感染症発生動向調査週報
2024年第32週(8月5日～8月11日)

◎症状は？

- ・発熱や全身倦怠感、頭痛などの初発症状が現れた3～5日後に乾いた咳がみられます。咳は、徐々に強くなり、解熱後も**3～4週間と長期間続くのが特徴**です。
- ・一部の人は肺炎となり重症化することや、中耳炎、無菌性髄膜炎、脳炎などの**合併症がみられる**こともあります。

◎感染経路は？

- ・感染経路：飛沫感染、接触感染
※家庭のほか、学校などの施設でも感染の伝播がみられます。
- ・潜伏期間：**2～3週間と長い**

◎治療・予防は？

治療は抗菌薬（抗生物質）による薬物療法
予防は

- ・手洗い、うがい、咳エチケット等の基本的な感染対策
※患者の咳から感染するため、咳の症状がある場合にはマスクを着用するなどの**咳エチケット**を心がけましょう。
- ・患者との濃厚な接触は避けましょう。

